

授業科目名	国際保健・看護Ⅱ			担当教員	小川 里美、宇都宮 真由子	
開講年次	3 年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	90 (2)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	グローバル化の進展に伴い、多様化・複雑化する世界の健康問題について、海外研修を通して学習し、保健医療分野、特に看護の役割・課題について考察する。					
到達目標	1. 海外研修前、訪問国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因の基礎知識を獲得するとともにそれらをまとめることができる。 2. 訪問国における海外研修を通して、保健医療・看護の現状や課題、関連する要因を観察し、看護の役割と課題を考察し、説明できる。 3. 海外研修での学びをまとめ、報告、発表できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	国際保健・看護Ⅰの演習科目である。また、赤十字概論、看護学概論、保健学・看護学総論、英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、国際開発論とも密接に関連する。本科目は、海外研修を通して、グローバル社会における保健課題や看護の役割について個人およびチームで探究し、〈チームで働く力〉、〈看護の専門性を探究する力〉を養う。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
			○		◎	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	海外研修前の準備活動の説明 ・コースガイダンス。準備活動および報告書作成、フィールドノート作成など	講義	(予習) 訪問国の概要を知る	120 分	小川 宇都宮	
2	訪問国での研修内容・研修先を決める ・研修また実施や調査したい内容を決める	演習 (GW)	(予習) 研修内容に応じて必要事項を調べる	120 分	小川 宇都宮	
3	事前学習(個人・グループ・全体) ・調査項目を分類し、自らの関心また指示によって各自でグループを選び所属する ・調査した内容を ppt にまとめる ・事前学習、研修日程等必要な情報をまとめた「研修の手引き」を作成する ・訪問先での挨拶や交流活動の概要、報告書作成行程と責任者・担当者決定を含め、計画立案する	演習 (GW)	(予習) 「政治・経済」「歴史・文化」「教育」「保健医療」「看護」「人間開発指数」等について調べる	120 分	小川 宇都宮	
4						
5						
6						
7	事前学習発表会	演習 (発表)	(予習) 学習資料を読み込む	120 分	小川 宇都宮	
8						
9	研修前最終オリエンテーション	講義	持参物品の確認	60 分	小川 宇都宮	

10 ～ 40	研修国での活動 ・各訪問先で研修目的・活動内容を英語で伝える。 ・広く、深く、偏りない観察を行い、詳細なフィールドノート（記録）を作成する。 ・現地の人々との対話を通して情報を収取する。（英語） ・日本の文化や看護について説明する。（英語）	演習 (AL)	小川 宇都宮
41 ～ 45	報告書作成 ・海外の現場を含む一連の活動で、観察・経験したことをまとめる。 ・上記に対する自分の分析をまとめる。 ・報告書を期日までに編集する。 ・レポートのフィードバック	演習 (GW)	小川 宇都宮
先行履修 科目	2年前期までに履修すべき全ての科目		
テキスト	適宜、資料を配布する。		
参考文献	国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には目を通す。訪問国や研修内容に基づいて、必要な文献を読む。		
評価方法	事前学習（30％）研修中の活動への参加度（30％）レポート（40％）		
教員等の 実務経験	赤十字や JICA での国際活動の経験のある教員が、研修を担当します。		
メッセージ	本科目の履修には、国際看護コース履修者を選択していることが望ましいです。 最低限必要な英語力を修得するよう、例えば、英語Ⅲの履修、英語錬成コースに参加する、 TOEIC 700 点など目標を掲げ、意図的に英語の学習をすることが必要です。 研修国を知るためにも、保健医療看護に限らず、様々な文献を調べるとともに、英語の文献も 積極的に読むようにして下さい。		